



特集

先進事例から学ぶ
北名古屋市の課題解決の
ヒント

令和7年第4回定例会Pickup案件

- ・財産の処分について(使用済タブレット端末売扱)



CONTENTS

特集 委員会行政視察報告	P2
令和7年第4回定例会の結果	P5
一般質問(12人26項目)	P6
議会活動報告	P14
令和8年第1回定例会の予定	P16

ツチノネ

鈴木 柚那
SUZUKI Yuna

名古屋芸術大学 芸術学部
2024年度 卒業制作

建設常任委員会

道路等包括管理事業について調査

本市では、個別のインフラ施設について、地区・業務ごとに業務を発注し、それぞれの業務を個別の業者が受注している。発注件数が多く、職員数に限りがあることから、今後は、効率的な運営が求められている。

インフラ施設の維持管理を行政と民間が連携して行っている先進地を視察。

先進地の取組内容(東京都府中市)

民間活力を最大限活用し 市民サービス向上を目指す

インフラ施設の老朽化が進む中、限られた予算で、施設の適正な維持管理を継続するために、民間業者に包括的な委託をしている。また、道路管理センターを設置し、市民からの通報を一括して受け付け、市民サービス向上を図っている。



調査を終えて(主な意見)

- 官民連携し、一括管理することで、今後懸念される職員への負担を減らせるのではないか。
- 市民からの通報をワンストップで受け付けることで、対応スピードのアップにも繋がり、市民にとっては心強い取組であると感じた。
- 単に費用を抑えるのではなく、予防保全型の管理を進めている姿勢にまちづくりへの誠実さを感じた。

都市農業について調査

本市では、レジャー農園を通じて市民が農業に触れる機会を創出し、農業への理解促進を図っている。今後、更なる農地の減少や農業者の高齢化・離農が想定され、次の世代へと農業を繋ぐ取組が重要である。

農業公園でのさまざまな取組を通して農業の継承を図っている先進地を視察。

先進地の取組内容(東京都杉並区)

農業の発展と地域との連携を促進し 農業の継承を支援

農業公園での農業体験教室や収穫体験、公園サポーター育成により、農に関わる人材を育て、次の世代へと農業を繋げている。

区民農園では、水道の整備がされている等、区民が利用しやすい配慮がなされている。



調査を終えて(主な意見)

- 公園サポーターの養成講座を修了した方々が、農家の作業を支援する等、活躍の場を広げているのが印象的だった。
- 予算の都合もあるが、レジャー農園に付加価値をつけて利用しやすくすることも良いと感じた。
- 現在進めている都市公園に農業体験のスペースを併設してもいいのではないか。

委員 さいとう 裕美 委員長、熊澤 真澄 副委員長、浅利 公恵、上野 雅美、桂川 将典、ひろた 幸治
同行 建設部長

特集

先進事例から学ぶ 北名古屋市の課題解決のヒント

福祉教育常任委員会

ひきこもり支援事業について調査

本市では、ひきこもりの当事者と繋がっていくための相談支援体制の在り方や支援を必要とする本人及びその家族に合わせた伴走型相談支援体制の構築が課題となっていることから先進地を視察。

先進地の取組内容(兵庫県尼崎市)

「しごと・くらしサポートセンター」を設置し、継続的な支援を実施

ひきこもり状態の方、一人ひとりの状況に応じた支援を大切にしながら、アウトリーチ支援、ひきこもり状態の方の居場所や家族交流会の提供、関係機関との連携を通じた支援を行っている。



調査を終えて(主な意見)

- ひきこもり当事者の居場所づくりも必要だが、家族交流会など家族への支援に重点をおいて取り組むべきである。
- ひきこもり状態となる方が増え、高年齢化していくことが多様化する社会に影響を与えていく中で、行政としてどこまで支援ができるのか、考えいかなければならない。
- 家族支援としての親なき後の自立を考え、ファイナンシャルプランナーによる資産運用や自立資金確保の講座の実施は、大変参考になった。

子育て支援事業(母子保健分野)について調査

本市では、産後ケア事業や産後ヘルパー派遣事業の利用状況や支援が必要な妊婦の見守り訪問事業において、支援内容の充実と関係機関との連携の強化による地域全体で子育てを見守ることができる体制及び人材育成のあり方について検討が必要な状況であることから先進地を視察。

先進地の取組内容(兵庫県明石市)

「こどもを核としたまちづくり」を掲げ、子育て家庭を支援するため多様なサービスを提供

安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つ環境づくりを目指し、子育てスタート応援事業やおむつ定期便など、さまざまな子育て支援施策を実施している。



調査を終えて(主な意見)

- 0歳児の見守り訪問事業の一環として行われている「おむつ定期便」事業は、子育て支援・虐待防止の観点から非常に画期的な事業である。
- 各自治体が限られた予算で子育て支援事業を行い、人口増に向けた対策競争を行っているが、本来、子育て支援は、全面的に国が支援すべき事業であると、改めて強く認識した。
- 弁護士資格者を職員として採用し、児童虐待や個人情報保護に関する法的な問題についての研修や相談など即時対応できる体制に驚いた。

令和7年 第4回定例会 結果

会期 11/28~12/22 25日間

補正予算	6件	指定管理の指定	1件
条例の改正	9件	区域の変更	1件
財産の処分	1件	人事案件	2件

議案番号	議 案	議決結果
議案第91号	北名古屋市職員の旅費に関する条例の一部改正について	
議案第92号	北名古屋市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	
議案第93号	令和7年度北名古屋市一般会計補正予算(第4号)について	
議案第94号	北名古屋市消防団条例の一部改正について	
議案第95号	令和7年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成 原案可決
議案第96号	北名古屋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議案第97号	北名古屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	
議案第98号	指定管理者の指定について(北名古屋市高齢者活動センターしあわせの家)	
議案第99号	土地区画整理事業に伴う町の区域の変更について	
議案第100号	財産の処分について(使用済タブレット端末売却)	
議案第101号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全員賛成 異議なし
議案第102号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
議案第103号	北名古屋市職員の給与に関する条例の一部改正について	
議案第104号	北名古屋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
議案第105号	北名古屋市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	
議案第106号	北名古屋市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	
議案第107号	令和7年度北名古屋市一般会計補正予算(第5号)について	全員賛成 原案可決
議案第108号	令和7年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	
議案第109号	令和7年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	
議案第110号	令和7年度北名古屋市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	

色のついている議案をピックアップし下記に掲載しております。

すべての議案内容は、市議会ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。

Pickup

議案第100号 財産の処分について (使用済タブレット端末売却)

可決

小中学校に配備した児童生徒用の使用済タブレット端末を売却

内容

令和2年度に小中学校に導入した学習用タブレット端末の更新に伴って、使用済みとなったタブレット端末を売却します。

契約金額

47,536,665円(消費税等込)
1台当たり6,655円(消費税等込)

売却予定台数

7,143台

*台数は変動する可能性があります。

こんな質問がでました

Q 最高入札額と最低入札額で凄い差がある。入札業者は適切だったのか。また、最低入札価格を設定しなかったのはなぜか。

A 業者選定は国の基準に基づき、北名古屋市競争入札参加資格者を選定した。最低入札価格を設定しなかったのは、慣例にならっての形になる。

総務常任委員会

新庁舎の整備について調査

本市は、平成18年の合併以来分庁舎方式を継続しているが、今年度、外部委員による「庁舎のあり方検討委員会」を設置し、今後の庁舎に係る議論を行っている。

本市と同じような状況から、新庁舎を整備した自治体を先進地と捉え視察を実施。

(その後、11月18日に、議論した内容をとりまとめた提言書が市長に提出された。)

先進地の取組内容(茨城県坂東市)

市民参加型による 新庁舎の整備

新庁舎の整備に係る検討会等に、市民代表として市内の各種団体からの15名と公募による30名の計45名という多くの市民の参加を募り、新庁舎建設過程においては十数回に渡り進捗状況を広く広報し、市全体が一体となって新庁舎整備に取組んだ。



調査を終えて(主な意見)

- ・長く使う施設なので、時代の変化とともに柔軟に対応していくようなものである必要がある。
- ・ランドマークとしての庁舎ではなく、市民が利用しやすい、利便性が高い庁舎であるべき。
- ・市役所は市民に開かれた場所でなければならない。だからこそ、庁舎のあり方を検討していくのであれば、より広く市民に対して情報を開示し、意見を募るような体制作りが重要だ。

DXの推進について調査

本市では、利用者の利便性向上、行政事務の見直しやデジタル化による効率化、職員の意識改革を柱とした「北名古屋市DX基本方針」を策定し、取組を進めている。

国の制度を積極的に活用し、市民生活の質向上、地域の課題解消と魅力向上、行政の業務刷新の3つの視点によりデジタル化を推進している先進地を視察。

先進地の取組内容(静岡県袋井市)

様々な制度を活用した DXを推進

国のデジタル田園都市国家構想交付金や、地方創成人材支援制度を活用したデジタル専門人材の確保により、DXを推進している。また、「らくらくサポート窓口」のような、誰もが取り残されずDXの恩恵を感じられる取組も実施している。



調査を終えて(主な意見)

- ・DXの推進においては特定の年代だけではなく、全ての人が恩恵を受けられることが重要だと思う。
- ・袋井市のように、DX専門職員が仕組みを構築し、一般職員がそうした仕組みに関する教育や管理を担当するという、はっきりとした役割分担が重要な感じた。北名古屋市においても、国の制度等を活用して専門知識を有する職員を登用し、DXを推進してはどうか。



文部科学省調査の結果、令和6年度の小中高等学校及び特別支援学校での、いじめ認知件数は過去最多となつた。また、県内小中高・特別支援学校での、いじめの認知件数も過去最多となつた。増加の背景として、いじめの積極的な認知に対する理解拡大、タブレット端末を活用した心の健康観察の導入、アンケートや教育相談による児童生徒への理解の精緻化、ネットいじめの認知拡大等が考えられる。

①本市におけるいじめの認知件数・傾向の推移は。

②いじめを早期に発見する具体的な手段は。

③教職員が児童生徒のSOSをキャッチできるような研修や体制は整っているか。

④タブレット端末を活用した相談やすい環境を作る考えはあるか。

⑤いじめ問題に対し、教育委員会はどうのような強化策を実施しているか。

①本市におけるいじめの認知件数・傾向の推移は。

②教職員が児童生徒の小さな兆候を見逃さないこと、また、定期的なアンケート端末を活用した心の健康観察の導入、アンケートや教育相談による児童生徒への理解の精緻化、ネットいじめの認知拡大等が考えられる。

③いじめを早期に発見する具体的な手段は。

④いじめを早期に発見する具体的な手段は。

⑤いじめ問題に対する理解拡大、タブレット端末を活用した相談しやすい環境を作る考えはあるか。

⑥いじめ問題に対し、教育委員会はどうどのような強化策を実施しているか。



低所得世帯への塾費用の補助について

川渕 康宏（共産党）



物価高騰でどの世帯にも影響があるが、子どもがいる低所得世帯はさらに大変だと見受けられる。

家庭の経済格差が学力格差になつてはならないと考えるが、学習塾費用は高額で、所得の低い世帯にとっては負担が大きく通うのが困難である。こうした生活状況で、塾に通わせたいと思う保護者や、学力を上げたいと思う生徒がいると想つ。

生徒一人ひとりが、将来の目標が、そ

れぞれあるかと思うが、こうした思いに応えるために、国や自治体の支援が必要である。

学習塾費用の補助は生活困窮者自立支援法に基づいた、子どもの貧困対策の学習支援事業の一環として必要だと考える。

①学習塾費用が高額なため、通わせられないという相談はあるか。

②学習塾費用補助についての考えは。

①生活保護室及び社会福祉協議会の窓口に、過去5年間当該内容に関する相談はなかつた。

②持続可能な効果的な事業を行つための十分に整つていない現状から、現時点で学習塾費用の補助の実施は考えていながら、引き続き情報収集と研究を進めていく。

・アフタースクール教室の現状について

て

近年、若い世代を中心市販薬のオーバードーズが増加しており、違法薬物と比べて、女性が多いことが特徴とされている。

市販薬であつても決められた量を守らずに服用すると、深刻な健康被害を引き起こす、依存症となつてやめられなくなる、最悪の場合は死に至ることもある。

西春日井広域事務組合消防本部によると、薬物多量服用傷病者の搬送件数（疑い含む。）では、10～29歳の年代が全体の大きな割合を占め、特に女性の割合が大きくなつていて。

市販薬のオーバードーズの裏側には、それぞれの当事者が直面している生きづらさが潜んでいる。

薬を過剰摂取せざるを得ない苦しみに周囲の人々が寄り添いながら、早急に専門機関と繋がることができ地域の支援体制が必要だと思うが、当局の見解は。



市販薬のオーバードーズが社会問題化していることを受け、医薬品医療機器法等の改正法が成立し、乱用の恐れや依存性のある成分を含む医薬品の販売規制に向けて準備が進められている。

まずは、市販薬のオーバードーズが非常に危険な行為であること、また、オーバードーズに至る背景にある悩みや不安などに寄り添い、理解することが必要であることを周知していく。また、専門相談窓口などの啓発も行っていきたく考へている。



学校現場における共同親権制度への対応について

小村 貴司（無会派）



民法改正により、離婚後も父母双方が親権を持つことを可能とする「選択的共同親権制度」が創設され、2026年4月1日に施行される。

共同親権導入後は、離婚後も父母双方が親権を持つ児童生徒が在籍する」ととなる。

①共同親権導入後の学校行事への両親の参加、進路相談・面談における対応、教職員への理解促進や研修体制など、教育委員会としてどのように準備・対応計画があるか。

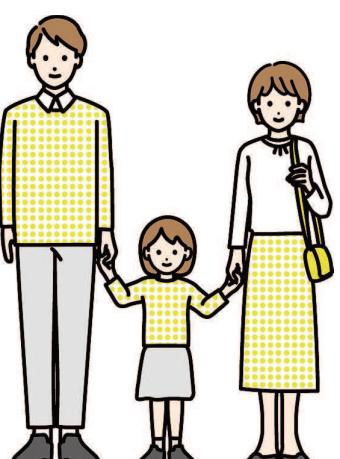
②全国的に親権を持たない親の参加を、学校長が親権者の意向を理由に制限する事案が発生しているが、このような事態が生じないよう教育委員会としてどのような指針・通知・職員研修を実施するか。

周知

①生活保護室及び社会福祉協議会の窓口に、過去5年間当該内容に関する相談はなかつた。

②持続可能な効果的な事業を行つための十分に整つていない現状から、現時点で学習塾費用の補助の実施は考えていながら、引き続き情報収集と研究を進めていく。

①市校長会を通じて、別居親の対応が問題視されていること、多様な家族のあり方への理解を深め、保護者に対する



誤解を受けることがないよう教職員への理解促進に努めている。

②文部科学省からの民法改正法に関する解説資料を基に、学校現場に対して周知していきたい。学校と教育委員会では、常に中立な立場から生徒と保護者に寄り添い、安心して過ごせる学校づくりに努めたい。

・離婚届提出時における案内・支援体制の整備について



産後1か月の産後うつ有病率は約7人に1人という水準で、妊娠関連死亡においては自殺が主要な死因の一つであり、メンタルヘルス対策は喫緊の課題である。本市では、産婦健康診査で自己記入式質問票を用いて心の状態を確認するEPDSを用いた早期発見に努めているが、支援に到達しにくい層が一定数存在する。

そこで、オンライン相談を対面の代替にとどめず、科学的根拠に裏づけられた有力な支援形態として位置付けることで、支援に繋がりにくい層を拾い上げ、危機を見逃さない新たな安全網として機能することが期待される。

- 財政的な後ろ盾として、こども家庭の「地域少子化対策重点推進交付金」や内閣府の「社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金」が活用
- 保健センター長**
- ①周産期うつの相談体制を一層強化すべきとの認識は。
 - ②国の制度を活用し、オンライン相談事業を早期に導入する考えは。



①妊産婦への支援として妊娠届出時の面談や乳幼児健康診査等を通して医療機関等と連携し、周産期うつに対応している。最近、増加している育児休暇を取得する父親への産後うつ支援強化も重要と考える。

②国の制度を活用したオンライン相談は、体力的負担の大きい産後の女性が気軽に自宅で専門性の高い心理的サポートを受けるのに有効であるが、妊娠期から同じ保健師による継続した支援を行うことが、費用対効果の面でもより効率的であると考える。

令和8年度市議会モニター募集

市民の皆様から議会活動及び議員活動についての意見、要望等をお聴きし、市民ニーズを反映した議会運営を図るために、「市議会モニター」を募集します。

職務	①市議会の会議を傍聴し、議会運営の見聞を広げるとともに、意見、提案等を文書により提出します。 ②議会が行うアンケートに回答します。
応募資格	満18歳以上で市内に在住、在勤又は在学し、市議会に関心のある方
募集人員	10人以内
任期	委嘱の日から令和9年3月31日まで
謝礼	予算の範囲内で支給します。
選考方法	地域、職業、年齢などを考慮し、特に市議会モニター活動に意欲的かつ適任であると判断した方を議長が選任します。
応募方法	①モニター応募用紙に必要事項を記入し、議会事務局(東庁舎4階)に提出してください。応募用紙は、ホームページよりダウンロードしていただくか、議会事務局にてお渡しいたします。 ②右記2次元コードより申込フォームからお申し込みください。 (応募期限:令和8年2月20日(金))



議会モニターって毎回傍聴しなきゃダメ?

傍聴は強制ではありませんので、お仕事や用事のある場合はお休みしていただいて構いません。無理のない範囲で傍聴してください。

傍聴するのに手続きが必要なの?

特に手続きはありません。傍聴受付で議会事務局職員にお声をかけてください。議会モニター用の名札、筆記用具をお渡しします。

議会モニターの意見はどうなるの?

モニターの皆様からいただきましたご意見は、議会だよりで紹介させていただきます。また、今後の議会運営の参考にさせていただきます。



皆様の声をお聞かせください

議会だよりをより充実させるため、皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。

議会事務局 ●メール giji@city.kitanagoya.lg.jp
●FAX (0568)23-3140



市議会モニター意見箱
～第4回定例会～

ご意見箱

「通年議会」としてほしい。
たくさんお話されるので、喉に負担が少なくなるようにできたら良いと思った。

その他たくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきました。今後の議会運営に役立てていきたいと思います。

より多くの市民に市議会を見てもらえるように、夜間議会、土日祝日の議会を開催してほしい。

本会議・委員会を傍聴してみませんか

本会議・委員会開催日に市役所東庁舎4階東エレベーター前で傍聴受付を行います。(日程はP.16を参照)

傍聴の受付時間は、本会議、委員会ともに会議開始30分前からとなります。委員会は、先着10名で途中での入退室はできませんのでご了承ください。



全員協議会室



本会議場

～議長賞紹介～

令和7年度北名古屋市青少年健全育成非行防止「標語・ポスター」作品
議長賞が決まりました。

ちよつと待て
知らないLINEは
危険ライン



標語の部
白木小学校 6年 島田 美夢さん

ポスターの部
師勝中学校 3年 萩原 瑠花さん

ホームページで議会情報をチェック！

インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果など様々な情報が見られます。みなさまのアクセスをお待ちしております。
※通信料はご利用者の負担となります。

10月4日に開催した
「市民と議会の意見交換会」の様子や
その後に議員のみで行った
“ふりかえり”も
掲載しています。



市民と議会の
意見交換会



北名古屋市議会

検索

議会活動報告

啓発活動を行いました

児童虐待防止

11月の児童虐待防止月間に合わせて、啓発活動を行いました。

「もしかして」と思ったら、189（いちはやく）に電話してください。と声かけするとともに、チラシを配布しました。



北名古屋市議会は
「子どもを児童虐待
から守るまち宣言」
◎をしています。

行政視察をお受け入れしました

議会での視察受入実績

令和7年に受け入れた行政視察の実績を紹介します。

10月10日 兵庫県丹波市議会 総務文教常任委員会 様
(コミュニティスクールについて)

10月15日 兵庫県姫路市議会 厚生委員会 様
(地域回想法について)

10月21日 兵庫県芦屋市議会 民生文教常任委員会 様
(地域回想法について)



10月28日 静岡県伊豆の国市議会 福祉文教環境委員会 様
(地域回想法について)

10月30日 千葉県市原市議会 市民文教常任委員会 様
(コミュニティスクールについて)



議会だよりが
アプリで
読めます。

令和8年 第1回定例会の予定

2月20日(金) 午前10時	本会議(初日)
3月 5日(木) 午前10時	本会議(一般質問)
3月 9日(月) 午前10時	本会議(一般質問) ※3/5にすべての日程が終了した場合は開催されません。
3月10日(火) 午前10時	予算決算常任委員会
3月11日(水) 午前10時	予算決算常任委員会
3月12日(木) 午前10時	福祉教育常任委員会
3月13日(金) 午前10時	建設常任委員会
3月16日(月) 午前10時	総務常任委員会
3月17日(火) 午前10時	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会
3月23日(月) 午前10時	本会議(最終日)

請願書・陳情書の提出について

令和8年第1回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、2/10(火)の午後5時(予定)です。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

[受付時間] 会議開始30分前から

[受付場所] 市役所東庁舎 4階
東エレベーター前

※委員会は先着10名で、途中での入退室はできませんのでご了承ください。

表紙紹介

名古屋芸術大学 芸術学部 2024年度 卒業制作

鈴木 柚那 SUZUKI Yuna

ツチノネ

やきものでできた新しい打楽器をつくりました。様々な実験を経て、やきもの特有の音を出すツチノネ(土の音)を制作しました。



編集後記

●99号となる今号では、12月議会報告と、3つの常任委員会での所管事務調査を特集しました。年間のテーマを話し合い、事前に担当課からテーマについてヒアリングを行い、先進事例を学び、深く議論することで、市議会・議員の政策提言へと繋げています。

皆様に、市議会や議員活動の様子を、より身近に感じていただけますと幸いです。

●北名古屋市での行政課題、将来に向けての取組について、各常任委員会で先進地等の行政視察を行ってきました。内容について検討しこれからの施策に反映していきます。

これからも開かれた議会を目指して、議員は議会で何を議論しているかなど、わかりやすく伝えてまいりますので、お声をお聞かせください。これからも議会は、市民の皆さんとともに地域の課題を取り組んでまいります。

